

リバルエン® LAパッチ25.92mg/51.84mgの使用スケジュール

- リバルエン® LAパッチは、皮膚から有効成分が吸収される貼り薬（パッチ剤）で、もの忘れなどの症状の進行を遅らせるはたらきがあります。
- この薬は、皮膚に貼ると長い時間、成分が少しずつ放出されるように工夫されております。
- この薬は4日間⇔3日間ごとに**1週間に2回、決めた曜日**に貼りかえます。ご自身のパターンに合わせて、毎週同じ曜日に貼りかえましょう。

例) 月曜日と金曜日に貼りかえる場合

毎週、月曜日と金曜日に貼りかえ

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ○	3	4	5	6 ○	7
8	9 ○	10	11	12	13 ○	14
15	16 ○	17	18	19	20 ○	21
22	23 ○	24	25	26	27 ○	28
29	30 ○	31	1	2	3 ○	4

貼りかえスケジュールの組み合わせ

月曜日	+	金曜日
火曜日	+	土曜日
水曜日	+	日曜日
木曜日	+	月曜日
金曜日	+	火曜日
土曜日	+	水曜日
日曜日	+	木曜日

- 2種類の大きさがあり、通常4週間で大きいものに変更します。
(医師の判断で調整することがありますので、必ず医師の指示通りに貼ってください)

使用開始



貼り忘れたときの注意

- 貼り忘れに気づいたときは、気づいた時点で新しい薬を貼ってください。次からは、いつもと同じスケジュールで貼りかえてください。
- 貼り忘れに気づいても2枚以上を一度に貼ってはいけません。
- 4日間以上貼っていない期間がある場合は、次に使うパッチの大きさが変わることがありますので、医師にご相談ください。



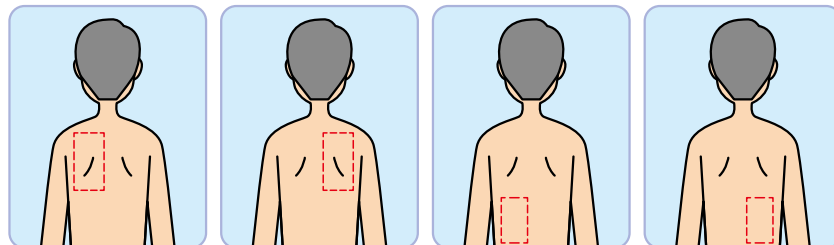
東和薬品

リバルエン® LAパッチ25.92mg/51.84mgを使用する際の注意点

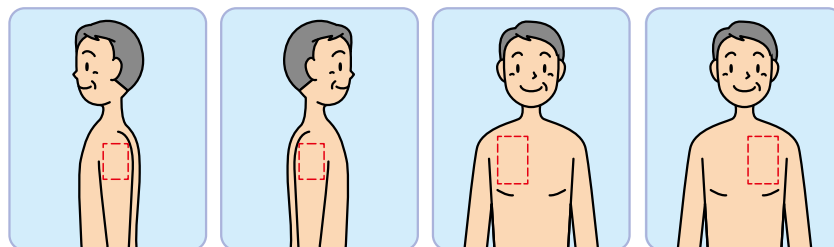
貼る場所と注意点

- 背中、上腕、胸のいずれかの正常な皮膚に貼ります。
- 貼る場所は毎回変え、同じ場所に続けて貼らないでください。

背中



上腕と胸



はがれそうなき、はがれたときは

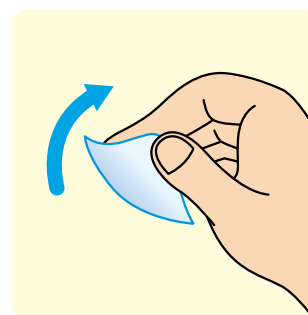
- はがれそうなきときは、再度手で押さえて貼ってください。押さえてもはがれそうなきときは、市販の医療用テープで固定してください。
- 完全にはがれたときは、新しい薬に貼りかえてください。その後はあらかじめ決めた曜日に新しい薬に貼りかえてください。
- はがれた薬は、接着面を内側にして折りたたみ、子どもの手の届かないところや目につかないところに捨ててください。

副作用について

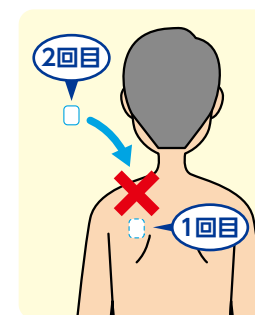
- 主な副作用として、皮膚症状(薬を貼った場所が赤くなる、かゆくなるなど)や消化器症状(嘔吐、吐き気、下痢など)が報告されています。
- 気になる症状が現れた場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

皮膚障害を予防するために

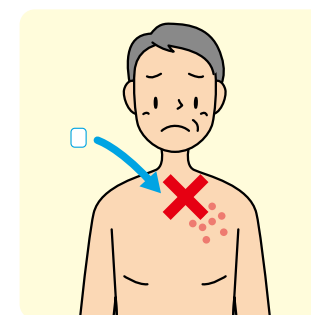
やさしくゆっくり
はがす



同じ場所に
続けて貼らない



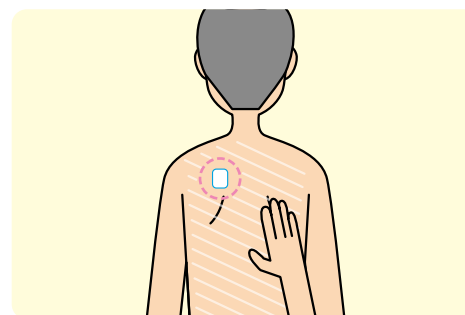
皮膚のトラブルが
ない場所に貼る



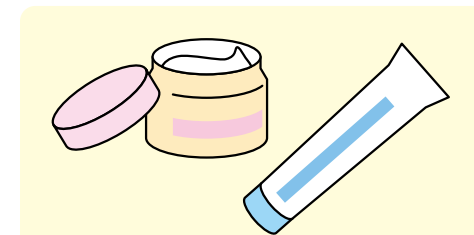
リバルエン® LAパッチは、1週間に2回貼りかえる薬です。
貼りかえる際は前回の薬をはがしてから、新しい薬に貼りかえてください。
その際は、1度に2枚以上貼らないでください。

傷口や湿疹、皮膚炎などがある場所には貼らないでください。

新しい薬を貼ったあと、
貼った部位を避けて保湿剤を塗る



風呂上がり
に保湿剤を塗る



お風呂を出た直後で、皮膚が湿っているときに保湿剤を塗ると効果的です。

※ディケア・デイサービス等で入浴サービスを受けられている場合には、保湿剤を持参いただき、処置を受けていただくことをおすすめします。

保湿剤の種類

ヘパリン類似物質製剤

その他(白色ワセリン、セラミドなど)



東和薬品

監修

医療法人社団彰耀会

メモリーケアクリニック湘南 理事長・院長 内門 大丈 先生